施 策 評 価 シ ー ト

1 総合計画上の位置づけ

担当課： 農林課

施策名	24 林業
政策名	「まち」に活力を生む
施策がめざす将来の姿	・森林が適切に整備、保全され、豊かな森林環境が次世代へと継承されています。
	0

③ 施策評価指標

成果指標名	単位	後期当初値	令和９年度目標		
間伐面積	ha	507	700		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	395	294	250		

成果指標名	単位	後期当初値	令和９年度目標		
林業従事者数	人	23	25		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	20	未確定	未確定		

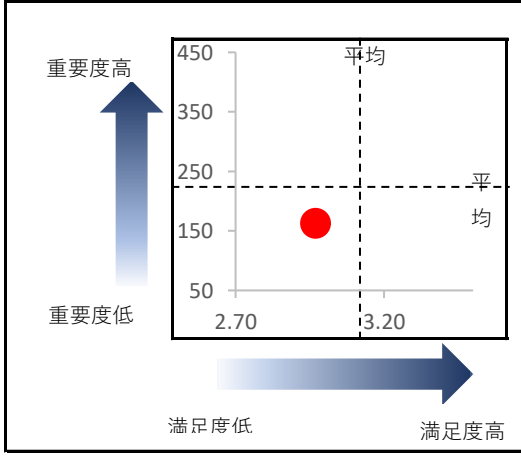
3 施策の重要度と満足度（市民アンケート調査結果）

重要度／単位（人）
令和7年度
162

満足度（満足している市民の割合）／単位（%）		
令和6年度		**令和7年度**
85.0	→	84.8

※増減（→）の基準は３ポイント以上とする

R7重要度・満足度（他の施策と比較した位置）



4 施策の課題と今後の方針

（施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。）

適切な森林管理によって、森林が持つ水源涵養や災害防止などの多面的な機能を図る重要性が市民と共有されています。
森林経営管理制度による未整備私有林環境保全整備事業や林地残材木質バイオマス等利用促進事業により、間伐、風倒木や危険木の除去等の森林整備を実施し、災害に強い森林づくりに努めます。

5 施策を構成する事務事業の今後の方向性

（右欄は、施策を構成する事務事業のうち、今後特に重点化するものに〇、縮小するものに△、廃止するものに▲を付す。）

事務事業①：造林・育林事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性 事業費	方向性 成果	事務事業の今後の方向性	重点化
18,305	森林環境保全整備事業	→	→	森林経営計画に基づいて実施される間伐等に対して補助し、森林所有者の経営管理の負担を減らすことで、伐期にある木材生産林の整備や搬出、再造林等を推進します。	
	木の駅プロジェクト活動促進事業	→	→		

事務事業②：林業経営支援事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性 事業費	方向性 成果	事務事業の今後の方向性	重点化
36,309	ニホンジカ捕獲推進事業報償金	↗	↗	捕獲後の処理方法については、令和7年度から原則焼却処分としているが、ジビエとしての活用ができる取り組みを推進します。	
	被害防止捕獲報償金	↗	↗		

事務事業③：森林整備事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
33,026	未整備私有林環境保全整備	→	→	１年目に意向調査、2年目に状況調査及び境界明確化、3年目に協定及び施業という段階的な流れにより計画的に実施し、未整備私有林における環境保全を図ります。	
	森林状況調査及び放棄境界明確化	→	→		

事務事業④：森のエネルギー利用促進事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
1,064	薪ストーブ等購入支援	→	→	広報等によりさらに広く周知を図ることで、申請件数を増やします。	
	林業安全装備購入支援	→	→		